

老松古墳

オイマツコフン



指定日：昭和56年(1981)3月25日 種別：史跡

石室の規模は、全長6.34m、玄室は長さ3.76m、奥壁幅1.4m、中央部幅1.82m、玄門幅1.3mを測り、「胴張り」形式の平面を示している。羨道部は長さ2.58m、入口幅1.16m、左側に寄せた「片袖式」である。推定直径約10mの封土をもつ円墳である。出土遺物は、須恵器、土師器、銅芯銀張り耳環、鉄器である。本墳は、7世紀に盛んに築造された群集墳を形成した墳墓の形式・構造をよく具備し、その立地も時代性をよく示す遺構である。